

約、自治医大卒業医師採用等あらゆる手段を使って医師の確保に努めています。

上天草総合病院の本年度の目標は、経営健全化に努め、不良債権を解消すること・医師、看護師等スタッフの確保、積極的に地域活動に参加し、地域社会に貢献すること・病院に来てよかったです！と評価されるサービスの提供と接遇の向上を提起されましたが、最も重要なことは『地域住民が一体となつて、赤ちゃんからお年寄りまでが健康で安心して生活できるまちづくりに貢献することである』と力説された病院長の言葉が強く印象に残りました。



上天草総合病院手術室

建設経済常任委員会所管事務調査 研修報告

委員長 荒木 政士

平成22年7月20日～21日に建設経済常任委員4人と、建設課長、経済課長計6人で視察を行いました。

この宮地岳町は、平成18年3月2市8町の合併により、天草市宮地岳町となる。周囲を500m前後の山々に囲まれ、平均標高110mの盆地

現在、地方自治体が運営する公立病院をとりまく環境は大変厳しい状況にあるために、採算性と公共性を同時に確保するための有効手段としての地方公営企業法の全部適用について、本町においても十分検討の余地があると考えさせられた視察研修でした。

疎化で集落の維持もあやぶまれている。集落営農の取り組みは、転作の経営確立助成金の交付を受けるため、平成12年4月15日宮地岳営農組合設立。平成18年4月3日付で法人化され現在に至っている。組織は、10集落188名で各集落2名の計20名の組合役員で組織され、農地面積、田105ha、畑10ha、基盤整備は90ha（整備率84%）である。

事業内容

- ①宮地岳全体の営農調整
- ②農作業受託
- ③農業機械、施設の共同購入、共同利用
- ④農地保全活動
- ⑤農道、水路の共同作業の実施
- ⑥鳥獣被害防止対策
- ⑦景観作物の作付推進（ナタネ）

翌日は佐賀市三瀬村にある野菜直売所「マツちゃん」を昼食をかねて視察しました。平成3年に開設、平成10年に法人化され直売所には、県認定の工コフアーマーで育てた野菜、果物の販売。地元食材を使った食堂の経営であり、りと町の活性化の為、多岐にわたり活動している事を実感した。

「集落営農の成果」
①農業所得の向上につながった。
②農地の流動化と集約につながった。
③集団で取組むことにより補助金、交付金等が受け取れる。
④作業員等の雇用、青壯年部、女性部との連携充実など地域づくりへの貢献ができている。
「今後の課題」
①経営規模の拡充と事業の確実性を図る。

次に、三瀬トンネル有料道路を視察。このトンネルは、福岡県と佐賀県を結ぶ国道263号の一部であり、三瀬峠付近での冬季交通規制や急カーブ、急勾配を解消する為に建設された一般有料道路です。トンネル部分3.4k、事業費46億、昭和61年7月供用開始。ループ橋部分1.9k、事業費73億、平成20年8月供用開始。通行料金（普300・中350・大500）で料金徴収期間は2030年2月まで。平成21年度の一日の通行量6,121台、又、所要時間が（21分から6分）15分間の短縮となっている。私達も往復（新道を行き、旧道を帰り）カーブの多さ勾配の急さ、